

## 《肥料の施肥例》

石灰を十分に施したら、畝間2m～、株間1mで、深さ30cmの所に肥料を入れましょう。元肥は控えめに！

### ◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 50g

他に…トヨクween(石灰) → 150g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 2kg

ようりん → 50g …等

### ◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 30g

※着果後に追肥。その後は株の状態(葉色の濃さや元気さ)を見て適宜行う。肥料のやりすぎはつるボケの原因に！要注意。スターマグ24(苦土肥料)を30g追肥すると糖度向上になり、つるボケの心配も軽減できておすすめ。



### この肥料の特徴

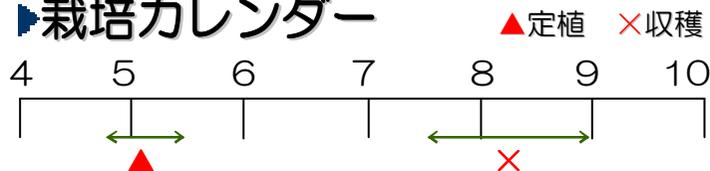
粟のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心で安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

# スイカ

## ▶特徴と栽培のポイント

夏の風物詩でもあるスイカは、暑さには強いものの病害虫に掛かりやすく連作に弱いので、接木をしたり耐病性のある品種を選ぶのがオススメです。最近は昔ながらの大玉より、食べやすく保存しやすい小玉スイカが人気となっています。

## ▶栽培カレンダー



まず第一に、スイカは瓜科の野菜なのできゅうりやメロンとの連作は絶対に避けること。

苗は信頼のおける種苗店などで接木苗を購入し、定植後はキャップ等で保温して活着を促す。又、放っておくとつるがどんどん伸びてしまう為、大玉スイカは親づる(主枝)の本葉6枚目より上を摘心し、子づるを4本残し、2果取りを目安にする(小玉は子づる5本仕立ての5果取りが目安)。受粉させ玉が大きくなったら全体が緑になるように玉を回し、満遍なく日を当てる(落果に注意して慎重に行うこと)。

## 《人気の品種》

### ●紅まくら (大玉)

枕型(長め)の大玉種で空洞が少なく、秀品率が高い。シャリシャリ感・糖度ともに高い安定感で、比較的栽培しやすい品種。



### ●紅しずく (小玉)

変形果が少なく秀品率が高い。低温少日照下でも雌花の着生が良く、花粉の出が良いため着果性に優れる。家庭菜園向き。

## ■播種期・収穫期の見極め■

夏祭りなどのイベントに合わせて収穫したい時は播種時期を良く見極めなくてはなりません。開花から収穫までの日数が品種によって異なるので、そこから逆算して播種日を決定しましょう。また収穫時期を見た目で判断する場合は、着果節の巻きひげが枯れ込んでいる物を1個試し割りしから判断して下さい。

